

令和4年2月9日
記者会見



鳴門市

道の駅「くるくる なると」整備事業

(四国のゲートウェイ推進事業)

※施設イメージ



整備目的

交流人口拡大と地域活性化を図ることを目的とする「四国のゲートウェイ推進事業」の基幹施設として、**大津町備前島**の国道11号沿いに**道の駅を整備**する。

事業内容

【工事の進捗】

- ・ 造成工事 R2.11に着手 R3.7業務完了
- ・ 建築工事 R3.5に着手 R4.3業務完了 (予定)
- ・ 外構工事 R4.1に着手 R4.4業務完了 (予定)

順調に進捗しており、**R4.4.29**を開駅日に決定。

【3つの特徴】

- ①本市が誇る地域特産物と運営事業者の商品開発力を活用した「**食のテーマパーク**」
- ②立地特性を活かした、**本市を訪れた方の最初の立寄地 (ハブ拠点)**
- ③「**店舗事業**」と「**ふるさと納税事業**」との両立による、地域商社機能を持った産業振興拠点

四国の玄関口にある道の駅として、**四国**、そして**西日本**を代表する道の駅を目指す。

↓

道の駅が「**食**」「**観光**」「**農水産物**」といった本市のポテンシャルを一段と引き出すことで、地域活性化の起爆剤に活用する。また、アフターコロナも見据えた交流人口拡大の拠点として運営を行う。

令和4年度当初予算

令和3年度3月補正予算

重点事業

令和4年2月9日 記者会見



鳴門市

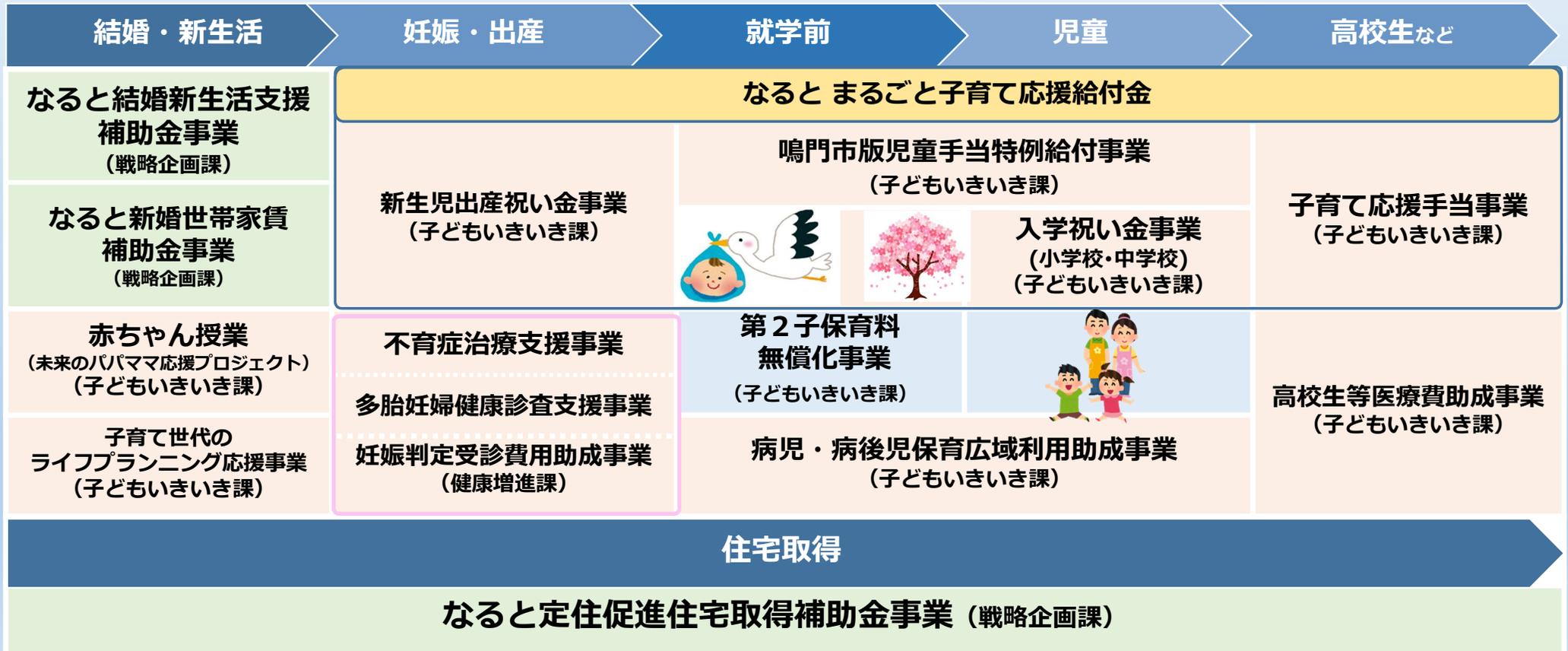
NEW

なるとまるごと子育て応援パッケージ事業

県内随一の子育て応援都市を目指し、令和4年度から7年度までの4年間で「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置づけ、結婚生活・妊娠・出産・子育て・住宅取得の各ステージを「子どもファースト」の視点から強力に支援することにより、子育て世代の定住人口の確保を図ります。

総事業費：1億7,800万円
(歳入の減額及び事務費を含む)

企画総務部 戦略企画課
健康福祉部 健康増進課
子どもいきいき課



結婚・新生活、住宅取得

当初予算額 5,450万円

企画総務部 戦略企画課

なると結婚新生活
支援補助金 1,650万円

令和4年度中に婚姻した新婚世帯の鳴門市での新生活開始に係る居住費等を支援します。

対象
経費 敷金、礼金、仲介手数料、
引っ越し費用等

夫婦所得400万円未満の場合、

1世帯あたり上限 **30万円**

夫婦所得400万円以上の場合、

1世帯あたり上限 **15万円**

なると新婚世帯
家賃補助金 594万円

鳴門市内の民間賃貸住宅に居住する新婚世帯を対象に、家賃の一部を支援します。



夫婦所得400万円未満の場合、

1世帯あたり月額上限 **1万円**

夫婦所得400万円以上の場合、

1世帯あたり月額上限 **5千円**

なると定住促進
住宅取得補助金 3,200万円

若者の移住定住を促進するため、市内に住宅を建設または購入した世帯に対して補助金を交付します。



結婚・新生活

健康福祉部 子どもいきいき課

赤ちゃん授業 「未来のパパ・ママ応援プロジェクト」

当初予算額: 20万円

【概要】

結婚をしてまだ子どもがいない「未来のパパやママ」が、子育て中のパパやママ、赤ちゃんとふれあう「赤ちゃん授業」を実施することにより、妊娠・出産・育児について考え、親になる準備や子育てを視野に入れた「自分達のライフプラン」を具体化していくことを応援します。



【実施内容】

対象者 子どもがいない夫婦
実施回数 年2回程度

子育て世代のライフプランニング応援事業

当初予算額: 20万円

【概要】

結婚等により新たなライフステージを迎えるにあたり、妊娠・出産・子育て・住宅取得を始めとしたライフプランや家計管理、プレコンセプションケアに関するセミナー等を実施することにより、鳴門で生きる子育て世代の未来の生活を考えるきっかけづくりと安定した生活設計を応援します。



【実施内容】

対象者 30代までの夫婦
実施回数 年4回程度

妊娠・出産

安心して子どもを産み育てることができるよう、
妊娠・出産に伴う医療費等の助成事業を開始します

健康福祉部
健康増進課

不育症治療支援事業・・・子どもをもうけたい家族の想いに寄り添います

当初予算額：150万円

【概要】

不育症の検査及び治療を行っている方にその費用の一部を助成します。

対象者 令和4年4月1日以降に、国内の医療機関で不育症
(2回以上の流産、死産の既往があり産婦人科医より診断された方)の検査及び治療を受けた方

助成額 1回あたり上限額30万円

1回は検査の終了まで、または検査後、出産(流産・死産を含む)に伴い治療が終了するまでの期間

多胎妊婦健康診査支援事業・・・多胎時の負担増を支援します

当初予算額 12.5万円

【概要】

多胎妊婦の方が令和4年4月1日以降に自費で受診した妊婦健康診査の費用の一部を助成します。

対象者 多胎妊婦の方(2子以上の複数の胎児を妊娠している方)であって、自費で受診した
妊婦健診を含め14回をこえて妊婦健診を受けた方、または、妊婦健康診査受診票を使用
する標準的な受診時期以外に自費で妊婦健診を受診した方

助成額 1回あたり上限額5千円、1人につき5回まで



妊娠判定受診費用助成事業・・・妊娠初期の受診を促します

当初予算額：10万円

【概要】

低所得世帯の方が令和4年4月1日以降に妊娠判定のため医療機関へ受診した費用の一部を助成します。

対象者 市町村民税非課税世帯及び生活保護世帯に属する方

助成額 1回あたり上限額1万円、1人につき2回まで

就学前～高校生など

鳴門で子育てする世帯を まるごと応援

「なると まるごと子育て応援給付金」 当初予算額：8,360万円 (子どもいきいき課)

0歳



【新生児出産祝い金】

新生児1人に対し

10万円

小学1年生



【小学校入学祝い金】

小学1年生
1人に対し

入学時に1万円

中学1年生



【中学校入学祝い金】

中学1年生
1人に対し

入学時に1万円

～18歳まで



【子育て応援手当】

16歳～18歳に到達した
年度末まで
子ども1人に対し

年間3万円

本市
独自

【鳴門市版児童手当特例給付】 (0歳から中学校修了まで)

令和4年10月支給分より児童手当特例給付の対象外となる世帯に対し、

特例給付 (1人に対し月額5千円) を市が独自に継続

360万円

3,000万円

400万円

400万円

高校世代まで
独自施策で応援

4,200万円

第2子保育料無償化事業

当初予算額：630万円

歳入の減額：2,520万円

【概要】

子育て世代への更なる負担軽減を図るため、第2子の保育料の無償化を実施します。

【実施内容】

対象者 本市に住民登録がある認可保育施設又は地域型保育事業を利用している第2子



病児・病後児保育広域利用助成事業

当初予算額：10万円

【概要】

近隣市町の病児・病後児保育施設を利用した場合の利用料の一部を助成します。

【実施内容】

対象者 本市に住民登録がある保護者及び0歳から小学6年生までの子ども

助成内容 本市以外の病児・病後児保育施設に要した利用料と本市での利用料（2,000円）の差額を助成（償還払い）



高校生等医療費助成事業

当初予算額：300万円

【概要】

子育て家庭への経済的な支援を継続するため、高校生相当の子ども（16歳となる年度の4月1日から18歳到達後最初の3月31日までの間にある者）の入院に係る保険診療分の自己負担額の一部を助成します。

【実施内容】

対象者 保護者及び高校生等が鳴門市に住民登録があるもの

助成内容 令和4年4月以降の高校生等の入院に係る保険診療分の自己負担額の差額を助成（償還払い）

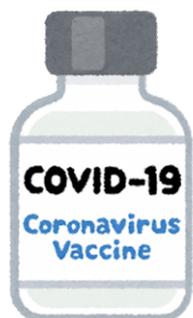


新型コロナウイルス感染症対策（第15弾）

3月補正予算

新型コロナウイルス
ワクチン接種事業 **8,936万円**
※令和4年度への繰越額含む

■新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目接種）を、安心・迅速・円滑に実施できるように、接種体制の整備を行います。



健康福祉部 健康増進課

新型コロナウイルス対策
地域活動推進補助金 **200万円**

■市民グループや地域団体、企業などが主体となり、企画実施する地域イベントなどの取り組みを応援するため、実施団体へ補助金を交付します。

■補助金：1事業あたり上限20万円
※令和2～3年度に交付を受けた団体で同内容の事業については上限10万円とします。



企画総務部 戦略企画課

新型コロナウイルス感染症対策（第15弾）

アフターコロナを見据えた設備投資支援事業 **1,000万円**

■市内に事業所を有する法人または個人事業主（中小企業基本法第2条第1項）が、アフターコロナを見据えて新たに行う設備投資を促進するため、投資費用の一部を支援します。

◆設備投資の内容

1. 機械装置
2. 測定工具又は検査工具
3. 器具備品
4. 建物附属設備
5. 構築物

◆交付額

投資額20～100万円未満・・・5万円
投資額100～200万円・・・10万円



経済建設部 商工政策課

住宅安心リフォーム支援事業 **1,002万円**



事業者集中応援期間
による予算増額分 200万円



■事業概要

地域経済の活性化を図るとともに、住み慣れた住宅に安心して住み続けていただくためのリフォーム工事への補助。（補助率20% 最大20万円）

◆拡充内容

新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている住宅関連産業に対する受注機会の拡大を目的として期間限定で200万円増額。

経済建設部 まちづくり課

うきうき

活力と魅力あふれる

まちづくり



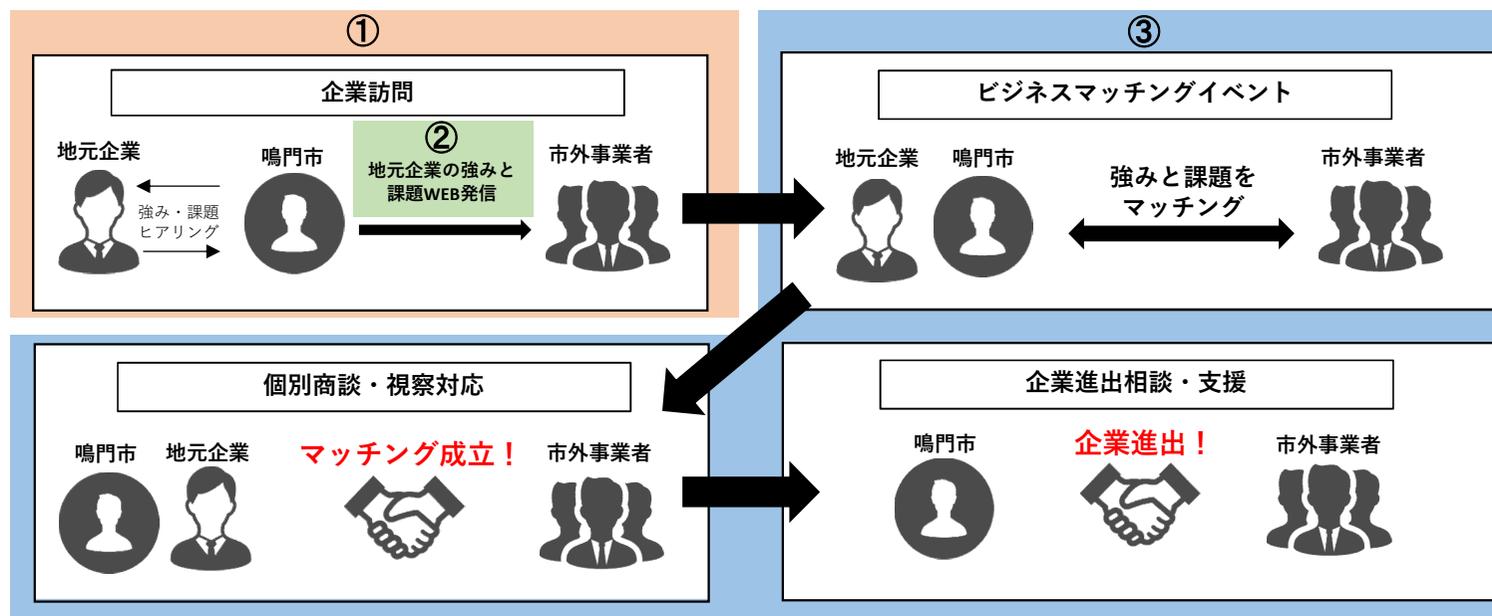
鳴門市

企業誘致等を活用した地域経済活性化支援業務

経済建設部 商工政策課

- ①サテライトオフィス等誘致WEBサイトコンテンツ造成業務 265万円
- ②サテライトオフィス等誘致WEBサイト宣伝広告費 40万円
- ③企業誘致等を活用した地域経済活性化支援業務 1,026万円

- ①地元企業の強みと課題をヒアリングし、サテライトオフィス等誘致WEBサイトに情報掲載。
- ②Google広告等によりサテライトオフィス等誘致WEBサイトの認知度向上。
- ③地元企業の強みや課題を、都市部等企業が持つ技術・ノウハウ等の強みや課題とマッチングさせ、地域に根差した新たなビジネスの創出等を推進。なお、本事業は中期事業戦略を策定し、計画的に実施する見込み。



鳴門市農業経営基盤 強化支援事業補助金

予算額：300万円 経済建設部 農林水産課

◆事業概要

農業協同組合等が実施する

「農業者が共同で利用する機械や設備等」

に対する支援を行う。

安定的かつ効率的な農業経営を
促進し、基盤強化を図る。

補助率：1 / 2 以内

(上限100万円)



鳴門市水産資源 維持対策事業補助金

予算額：120万円 経済建設部 水産振興室

◆漁業資源の確保

近年の海水温の上昇などにより、本市周辺海域の海面環境が変化。水産資源の確保が、将来に向けた課題のひとつとなっている。

各漁協が実施する「種苗放流事業」や「水質調査」、「わかめへの施肥事業」など、水産資源の確保につながる取組を支援することにより、本市水産業の持続的発展を促す。

補助率：1 / 2 以内 (上限30万円)

サイクルツーリズムを中心とした地域活性化推進事業

2025大阪・関西万博や大鳴門橋自転車道の開通を見据え、大鳴門橋の自転車道を想定した広域サイクリングコースを新たに検討し、サイクリストの受け入れ環境の充実を進めるとともに、国における「地域活性化起業人制度」に基づき、民間企業が持つ専門知識や業務経験を生かしたノウハウを活用し、サイクリングを中心としたアウトドアスポーツ等による地域活性化・観光振興に取り組めます。

- サイクリスト支援 318万円
 レンタサイクル、大鳴門橋自転車道気運醸成PR 等
- グルメライドイベント 250万円
- 地域活性化起業人の人件費等 660万円
- サイクルツーリズム推進事業補助金… 50万円



道の駅「くるくる なると」整備事業

(四国のゲートウェイ推進事業)

※施設イメージ



整備目的

交流人口拡大と地域活性化を図ることを目的とする「四国のゲートウェイ推進事業」の基幹施設として、**大津町備前島**の国道11号沿いに**道の駅を整備**する。

事業内容

【工事の進捗】

- ・ 造成工事 R2.11に着手 R3.7業務完了
- ・ 建築工事 R3.5に着手 R4.3業務完了 (予定)
- ・ 外構工事 R4.1に着手 R4.4業務完了 (予定)

順調に進捗しており、**R4.4.29**を開駅日に決定。

【3つの特徴】

- ①本市が誇る地域特産物と運営事業者の商品開発力を活用した「**食のテーマパーク**」
- ②立地特性を活かした、**本市を訪れた方の最初の立寄地 (ハブ拠点)**
- ③「**店舗事業**」と「**ふるさと納税事業**」との両立による、地域商社機能を持った産業振興拠点

四国の玄関口にある道の駅として、**四国**、そして**西日本**を代表する道の駅を目指す。

↓

道の駅が「**食**」「**観光**」「**農水産物**」といった本市のポテンシャルを一段と引き出すことで、地域活性化の起爆剤に活用する。また、アフターコロナも見据えた交流人口拡大の拠点として運営を行う。

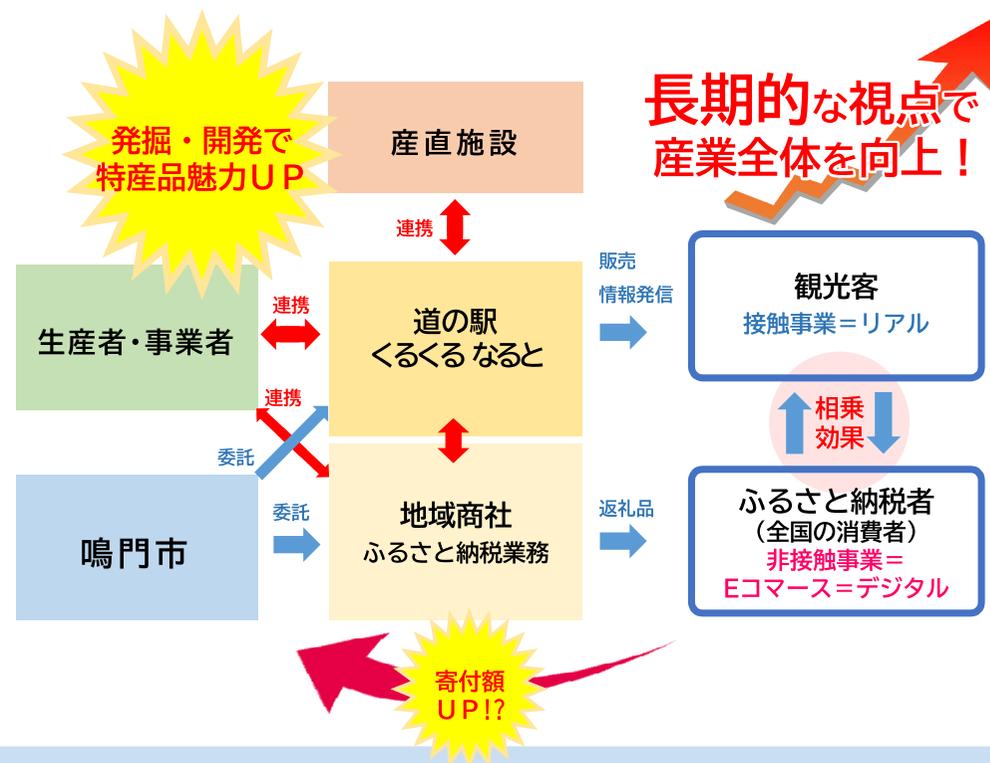
地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業

上記事業費のうち

5,200万円

令和4年4月29日開駅の道の駅「くるくる なると」と本市の「ふるさと納税事業」を連携させることにより、新たな地域資源の発掘や地場産品を活かした商品開発、また販路開拓事業によって、地域経済の発展に寄与する「鳴門モデル」となる地域商社事業に取り組みます。

地域産業の活性化と寄附金の増額を図るとともに、持続可能な地域経済の実現を目指します。



ずっと笑顔で

生きがいを感じる

まちづくり



鳴門市

スポーツ少年団活性化事業

当初予算額：130万円



市民環境部 スポーツ課

少子化等により、地域の子どもたちのスポーツ活動の場である「スポーツ少年団」の登録者数は減少傾向

指導者資格取得・更新の支援
30万円

指導者資格にかかる新規登録料・
4年に1回の更新料1万円を助成

各スポーツ少年団の紹介
50万円

各スポーツ少年団の活動を紹介する
冊子を作成し、小学校等に配布

マルチスポーツクラブの創設
50万円

総合型地域スポーツクラブと連携し、
本市に少年団登録のある8競技を
気軽に体験できるクラブを創設

団員数の確保、指導者育成の両面からスポーツ少年団の活性化へアプローチ！

指導者の
負担軽減

各少年団の
活動PR

子供たちの
運動機会創出

少年団入団の
きっかけづくり

文化会館耐震化調査事業

予算額：1,000万円

市民環境部 文化交流推進課

■現状

- ・鳴門市文化会館は、耐震性能を満たしておらず現在休館中
- ・県立ホールが建設されるため、市文化会館の運営に影響が出る



■方針

- ・耐震改修の方向で検討する
- ・県立ホールが建設される影響について考慮する



◆事業内容

今後の耐震改修を検討するにあたり、耐震改修の手法及び費用について、文化会館について最もノウハウを有する京都大学に調査をお願いする。



ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり

G I G A スクール 構 想 推 進 事 業

予算額：4,420万円

健康福祉部 子どもいきいき課
教育委員会 教育支援室

◆ネットワーク更新・整備委託事業...1,954万円

- ・老朽化がすすんでいる職員室のネットワーク更新を行います。
- ・様々な特性を持つ児童生徒に応じた環境で学習が行えるよう、**通級教室・保健室などに高速ネットワーク**を整備します。また、放課後や夏休みなどの長期休業中に利用する**放課後児童クラブ**においても学校同様の環境で学習に取り組めるように整備します。

◆ICT活用推進委託事業...1,465万円

ICT機器のメンテナンスや故障時の対応、授業支援を行う**ICT支援員**を3校につき1名配置し、**子どもや教員のICT活用を支援**します。

◆「授業支援システム」構築委託事業...1,001万円

学校・自宅の区別なく**安心してタブレット端末を運用**できるよう、
端末閲覧機能、アプリロック機能などを搭載したシステムを導入します。

いつでも どこでも 誰でも
安心・安全な環境下での
「学び」を保証



鳴門まちなか絵本図書館

予算額：74万円

教育委員会 生涯学習人権課

鳴門市内のいろいろな場所で本と出会い、幼少期から気軽に本にふれられる機会や環境づくりとして、「鳴門まちなか絵本図書館」を創出します。親子づれや子どもたちが立ち寄ることができる店舗・事業者を募集し、地域ぐるみで「絵本のまちなか」と目指します。



◆期待できる効果

- 子どもや親子が日常生活のなかで、気軽に本に親しみ、本を楽しむ場所が増える。
- 子どもや親世代が集まる場所ができることにより、新たなにぎわいが生まれまちの活性化につながる。
- 長期的には子どもの学力向上につながることを期待できる。

学校図書館サポート推進事業

予算額：752万円

教育委員会 学校教育課

■事業概要

図書館サポーターについて、配置時間を増やし、学校における図書館を活用した教育活動や読書活動の更なる推進を図ります。

図書館サポーターの配置時間

令和3年度	令和4年度
5,346時間	7,680時間

+2,334時間

1校あたりの配置時間（例）

◎12学級以上の小・中学校

年間420時間 → 年間600時間

◎150人以下の小学校

年間120時間 → 年間240時間



しっかり安心・快適

住み良いまちづくり



鳴門市

しっかり安心・快適住み良いまちづくり

新庁舎整備事業

新庁舎整備の基本理念

**「市民の安全安心をまもり、
絆をはぐくむ鳴門らしい庁舎」**

の実現に向け、令和6年1月の竣工を目指した
新庁舎の整備を進めます。

- **新庁舎整備事業<デザインビルド(DB)> 19億9,760万円**
新庁舎整備に向けた実施設計を4月に策定し、翌5月から建設
工事に着手します。
- **新庁舎整備に伴う用地取得事業 1億1,237万円**
庁舎敷地に隣接するJ A建物・土地の購入を行います。
- **集密書架購入設置業務 523万円**
新庁舎書庫への集密書架の設置に向け、設計を行います。
(債務負担行為：R5年度まで 7,224万円)

当初予算額 21億5,000万円

企画総務部 特定事業推進課 ※ 新庁舎のイメージ図



トリプル R 事業

～ Reiwa(令和)-Road(道路)-Repair(補修) ～ 予算額：1億5,400万円

道路補修を 3 つの予算で取り組みます

① 主要な市道の舗装補修 予算額：6,500万円

道路舗装修繕計画に基づき、舗装健全化を目指します

道路健全化

② その他市道の舗装補修

予算額：3,500万円

道路補修担当者会議に基づき、
舗装健全化を目指します

③ 道路維持補修

予算額：5,400万円

- ・舗装以外の道路構造物の健全化を目指します
- ・緊急を要する舗装補修を実施します

高機能消防通信指令システム・消防救急デジタル無線システム 全面更新整備事業

予算額：3億9,600万円

消防本部 警防課

◆高機能消防通信指令システム・消防救急デジタル無線システム更新整備

高機能消防通信指令システムと消防救急デジタル無線システムを全面更新し、迅速で的確な119番通報の受信と消防救急体制の強化を図る。



◆NET 119緊急通報システムの導入

聴覚や言語機能に障がいのある方が、スマートフォンや携帯電話のインターネット機能を利用して、簡単な操作で素早く119番通報ができるシステムを導入します。



次世代の消防救急防災システムを導入し、
市民の安心・安全な生活を守ります。

鳴門市・北島町共同浄水場整備事業

当初予算額：22億6,182万円

企業局 水道事業課・浄水場

◆事業目的

鳴門市と北島町の浄水場は、老朽化が進み、耐震性能などに課題があるため、浄水場を共同で整備

事業期間は、令和3年度～令和8年度（約6年間）

令和3年10月着工 令和8年度全面供用開始予定

設計・施工の事業費約115億円（鳴門市分 約81億円）

◆事業概要（令和4年度）

1. 共同浄水場整備事業 22億6,182万円
（鳴門市分 16億3,568万円）

浄水場更新の基本的なコンセプト

災害に強い浄水場

維持管理しやすい浄水場

効率性の高い浄水場

次世代に継承する浄水場



鳴門市と北島町のみなさんに安全・安心な水を安定供給



おおきく躍動

みんなで創る

まちづくり



鳴門市

当初予算額 3,128万円

第七次鳴門市総合計画 策定事業

NEW

企画総務部 戦略企画課

980万円

本市の目指すべき方向を実現するための施策を明らかにし、総合的、体系的かつ計画的なまちづくりの基本方針となる「第七次鳴門市総合計画」を策定します。



◆策定期間：令和4年度

◆計画期間：令和5年度～12年度（8か年）

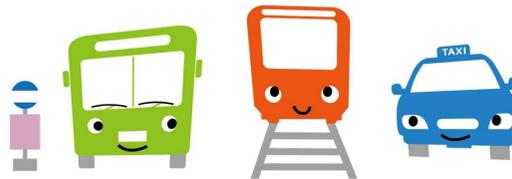
鳴門市地域公共交通計画 策定事業

NEW

企画総務部 戦略企画課

500万円

高齢化の進展等を背景とした輸送需要の変化やニーズの多様化に対応するため、今後の本市が目指すべき公共交通の基本的な在り方を示す「鳴門市地域公共交通計画」を策定します。



◆策定期間：令和4年度

◆計画期間：令和5年度～12年度（8か年）

都市計画マスタープランの見直し 及び立地適正化計画策定業務

経済建設部 まちづくり課

1,647万円

人口減少や少子高齢化社会等の課題を踏まえ、「持続発展可能なまちづくりの実現」を目指し、総合的なまちづくり施策の展開を図るため、「都市計画マスタープラン」の見直しや「立地適正化計画」の策定を行います。



◆策定期間：令和3～4年度

◆計画期間：令和5年度～24年度（20か年）